

認知症初期集中支援チーム検討部会 議事要約

日時：令和4年2月24日（木） 午後3時～午後4時30分

場所：保健センター4階 小会議室

参加：枚方市医師会、東香里病院（チーム員）、松谷病院（チーム員）、枚方市地域包括支援センター、枚方市地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当、枚方市福祉事務所 健康福祉総合相談担当

欠席：東香里病院（認知症疾患医療センター）、枚方市保健所保健医療課

発 言 者	内 容
事務局司会	<p>それでは定刻となりましたので、令和3年度 認知症初期集中支援チーム検討部会を開催いたします。</p> <p>本日はご多用のなか、本会議にご出席くださりまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日、司会進行を担当させていただきます、健康福祉総合相談担当です。よろしくお願いいたします。</p> <p>資料の確認です。事前にお送りしていた資料④は、新型コロナウイルス感染症による講座の延期など、内容に変更が生じていますので、お手元にある資料と差し替えをお願いします。なお、議事要約作成のため録音をさせていただきますのでご了承ください。</p> <p>案件1「オレンジ初期集中支援チーム発動状況・活動報告」では、今年度に発動したケースの紹介と報告をさせていただきます。</p> <p>案件2、「オレンジ初期集中支援チーム研修」報告では、チーム医療機関、枚方市認知症施策推進チームと協働で実施した地域包括支援センター職員向け研修の開催状況・交流のまとめ等を報告いたします。</p> <p>案件3、「オレンジ初期集中支援チーム意見交換会」報告では、チーム医療機関、枚方市認知症施策検討チームとの意見交換会での話し合いの内容等について報告いたします。</p> <p>案件4、「認知症施策取り組み実績及び次年度の取り組み」では、今年度の認知症に関する総合的な施策（取り組み）を報告し、次年度の取り組み内容や方向性について協議させていただきます。</p> <p>案件5、では「各機関の取り組み」の紹介を予定しております。</p> <p>次に本日の出席者を自己紹介をお願いいたします。では、事務局から順に紹介をいたします。（紹介）</p> <p>それでは、開催に先立ちまして、健康総合相談担当課長より挨拶をさせていただきます。</p>
健康福祉総合相談担当課長	<p>認知症初期集中支援チームは、新オレンジプランの「認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供」と「認知症の人の介護者への支援の柱」に位置づけられております。この度の検討部会では、チームの活動状況報告や発動ケース等から現状把握や課題抽出し、事業の評価を行います。また、必要に応じて評価結果を次年度の事業に反映し、必要な支援や連携体制構築に取り組む目的で開催しております。</p> <p>認知症の方やご家族の方が、その人らしく地域での暮らしが継続できるよう、認知症初</p>

	<p>期段階における包括的・集中的支援、早期対応に向けた支援体制構築推進につながる機会としたいと考えております。本日は、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局司会	<p>では、案件1「オレンジ初期集中支援チーム発動状況・活動報告」についてご説明いたします。資料①支援状況一覧をご覧ください。</p> <p>今年度の発動ケースについて、チーム依頼の目的や訪問時の本人・家族の状況、チーム員会議で検討した上での支援内容と経過等の報告をチーム員よりお願いします。チーム介入の中で改善点などの提案なども併せてお伝えください。</p>
東香里病院	<p>発動事例について資料①に沿って説明。</p> <p>資料①の発動事例1は、近くの医療機関に繋ぐことができたが、血圧が高く自己流の健康管理になっていたため、訪問看護を導入出来たら良かったというのが反省点です。</p> <p>発動事例3は、初回訪問の際に、初対面の者が複数人で訪問をしたことにより、本人が拒否感を持たれて支援を中断したのが残念でした。訪問前に細かく打ち合わせをしておけば良かったというのが反省点です。</p>
事務局司会	<p>東香里病院さんの発動ケースは、資料④の発動事例1は、チーム員が丁寧に訪問をされ、生活状況の把握をしていただいたおかげで、今後の金銭管理について検討出来たと思います。</p> <p>発動事例4は、拒否感が強い方に受け入れていただける方法で介入出来るよう、発動時に市に事前に相談ください。</p> <p>発動事例5は、医療や介護に一切繋がっておらず、支援の負担感が強い方だったのですが、チーム員が信頼関係構築から根気強く支援いただきました。</p>
枚方市医師会	<p>発動事例3はチームの支援が中断したとのことだが、引き続きどこかの機関が支援に入っていますか？</p>
健康福祉総合相談担当	<p>地域包括支援包括センターが引き続き支援しています。再発動の相談があれば、対応させていただきます。</p>
松谷病院	<p>発動事例について資料①に沿って説明。</p>
枚方市医師会	<p>発動事例2は、子はいますか？</p>
松谷病院	<p>複数いるが全員遠方に在住でした。配偶者への支援ばかりに目がいってしまい、子へもご本人の情報を積極的にお伝え出来たら良かったというのが反省点です。</p>
枚方市医師会	<p>医師の立場としては、認知機能が低下している患者に出会ったら、まず「子はいますか？」と聞き連絡します。子の支援が望めない場合は、難しいところですね。</p>
事務局司会	<p>松谷病院のチーム員の報告では、介護保険に繋がったと言報告がありましたが、そこに行きつくまでに様々な連絡・調整をしていただきました。</p>
枚方市医師会	<p>発動事例が少ないのが課題ですね。医師会が医療機関向けにアンケートを取った際に、「オレンジ初期集中支援チームを知っているか」という項目を入れたが、8割が「知らな</p>

	<p>い」という回答でした。「認知症を疑う患者がいたら、地域包括支援センターに相談していますか？」の項目も、しているとの回答は少なかった。周知不足を実感しています。</p> <p>出した処方箋が適切に服薬出来なくなった等、患者の変化に気が付く医師は多いと思うが、生活の様子など細部までは分からない。生活状況をよく把握されている介護保険事業所と医師が情報共有出来るツールがあれば良いですね。発動件数が多い市は、医師と介護保険事業所との連携がよく出来ているからだと思う。枚方市も医師が積極的に介入していく必要があると思います。</p> <p>若い開業医も増えているので、来年度は開業医向けに認知症の勉強会の開催や情報共有ツールの検討などを行っていきます。</p>
健康増進・介護予防担当	<p>地域包括支援センターが開催している多職種連携研究会に医師が積極的に参加いただけたら、介護保険事業所と医師が直接意見交換を出来る機会も増えると思います。</p>
事務局司会	<p>次年度の取組みの話が出ましたが、後ほど案件④でも説明させていただきます。</p> <p>ケアマネジャーが医師と連携を取りやすくするためのシートがあると聞いているので、さらなる活用や改善について、皆様と協議が出来たらと思っています。</p> <p>それでは、次に 案件2 「オレンジ初期集中支援チーム研修」について報告いたします。</p>
地域包括支援センター	<p>今年度、チーム医療機関、枚方市認知症施策検討チームと協働で実施した地域包括支援センター職員向け研修についてご説明いたします。</p> <p>支援チームは包括の相談・依頼にて始動しますが、事前調査により、チームの支援の実際や事務作業等、イメージしにくいと感じていることを把握しました。そこで、実際に発動した1事例をもとに、相談受付から発動の判断、発動依頼、チーム員会議の様子、具体的な動き等をロールプレイ方式で説明することにしました。また、各医療機関の強みを紹介、地域包括支援センター職員と医療機関チーム員の交流を図り、顔の見える関係性を構築することを目指しました。当日研修資料の詳細は、お手元の資料②-1をご確認ください。</p> <p>研修は、令和3年10月に開催し、包括職員25名が参加しました。スライド資料②-2研修交流まとめをご覧ください。(研修感想全般、発動のメリット、医療機関チーム員の意見を抜粋して紹介) このように、「チーム発動に係る実際の事務・支援を学ぶことで、チームを効果的に活用できるようになり、今後の支援や連携体制構築につなげる」という研修の目的・目標は概ね達成できたと考えます。また、現在、研修に参加した地域包括支援センター職員がセンター内で伝達研修を行っているところです。研修報告は以上です。</p>
事務局司会	<p>研修参加者からは、制度理解が深まったとの声を多数いただいているため、発動件数の増加を期待したいところです。</p> <p>研修報告について、何かご質問やご意見があればお願いします。</p>
枚方市医師会	<p>介護職員に分かりやすく研修で伝えるには、グループワークやロールプレイが効果的だが、現在はコロナ禍でグループワーク実施が難しいことが惜しいところです。</p>
事務局司会	<p>ロールプレイという手法が研修参加者に非常に分かりやすく伝わったというのは、今回実施してみて初めての気づきでした。今後の手法として活用していきたいです。</p>

事務局司 会	<p>それでは、次に 案件3 「令和3年度枚方市オレンジ初期集中支援チーム意見交換会」報告について報告いたします。</p>
地域包括 支援セン ター	<p>チーム医療機関、枚方市認知症施策検討チームとの意見交換会について報告いたします。チームの支援状況・課題の振り返り、今年度・次年度の活動に関する話し合いを目的に、7月、12月に意見交換会を開催しました。</p> <p>資料③意見交換会議事録をご覧ください。第1回7月開催では、支援状況・課題として、医療機関受診やサービス導入に関して、認知症初期に介入する困難さが挙がりました。意見交換の中で、「事業の活動期間である6か月で解決しなかったとしても、関係者が支援方針を統一することで、2年後、3年後に症状が進行した時、それが家族にとって支援のヒントになるなど、将来の布石になれば発動の意義はある」と共有しました。また、研修開催等、今年度の活動内容・スケジュール・役割分担を協議しました。</p> <p>資料③の裏面をご覧ください。第2回12月開催では、支援状況・課題として、多様な視点を持って支援を模索する重要性、事前に包括と丁寧に打ち合わせし、スムーズにアプローチ出来る方法等を検討すること、全体的に発動件数が少なく、課題を抽出するにも、まずは活動を積み重ねる必要性があることを共有しました。また、今年度の活動内容の振り返り、次年度の活動予定について協議しました。次年度の活動は、案件4「令和3年度認知症施策取り組み実績及び次年度の取り組み」において詳細を報告させていただきます。意見交換会の報告は以上です。</p>
事務局司 会	<p>それでは、次に案件4 「令和3年度認知症施策取り組み実績及び次年度の取り組み」について報告いたします。</p>
健康福祉 総合相談 担当	<p>今年度の認知症に関する総合的な取り組みを報告し、次年度の活動内容や方向性について協議させていただきます。</p> <p>資料④-1の認知症施策検討チーム構成員の項目をご覧ください。はじめに、認知症施策に関する組織体制変更についてご説明します。昨年度までは、地域包括支援センター管理者・三職種部会職員、市担当で認知症合同チームを設置、認知症施策に取り組んでまいりました。</p> <p>今年度は、新たに認知症施策検討チームを設置しており、地域包括支援センター管理者・認知症地域支援推進員・市担当で構成されております。この施策検討チームを軸に、全体会議・各包括配置の地域支援推進員と協議を重ね、早期発見の仕組みづくりと発見後の支援体制の強化を進めているところです。</p> <p>資料にありますように、今年度の主な取り組み内容は、①認知症初期集中支援チーム事業の検討、②認知症サポーターステップアップ講座の企画・開催とサポーターの活動先の発掘でした。</p> <p>まずは、①支援チーム事業推進の活動報告と次年度の取り組みについて協議させていただきます。</p> <p>活動内容としては、先ほどご報告した意見交換会・地域包括支援センター職員向け研修のほか、枚方市介護支援専門員連絡協議会会報や令和4年2月開催のオレンジカフェ交流会案内発送時に、認知症初期集中支援チーム案内ちらしを同封、周知を図りました。</p>

	<p>次年度の取り組みとして、支援チームについて外部機関への周知を図る必要があると考えております。グループホームやオレンジカフェ、認知症サポーターや認知症施策に関心の高い企業等に向けたアプローチも検討、取り組んでいくと共に、枚方市三師会、特に枚方市医師会との連携は不可欠と考えております。ぜひともよろしく願いいたします。支援チームの活動を周知する目的で医師会・支援チーム共同で研修を開催する等検討しておりますが、次年度の取り組みについて、何かご質問やご意見があればお願いいたします。</p>
枚方市医師会	<p>以前は、三師会が集まってグループワークを行い意見交換をしていたこともあった。三師会とも連携していけたらと思います。</p> <p>また、地域ケア実務者連絡協議会にて、作業部会を稼働させ、様々な機関と連携を進めていきたい。一般市民向けにも、認知症とACPの一体的な周知と効果測定を進めていけたらと思います。</p>
事務局司会	<p>ご意見・ご質問ありがとうございました。この度の協議をもとに、次年度の認知症施策の方向性、取組内容を決定します。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。</p>
健康福祉総合相談担当	<p>続きまして、初期集中支援チームの取り組み以外の活動についても、ご報告いたします。資料④-1をご覧ください。今年度は、7月、10月に各包括に配置されている地域支援推進員との会議を開催し、チームオレンジ構築に向けた認知症サポーターステップアップ講座の企画及び開催とサポーターの活動先（受け入れ先）の発掘を進めてまいりました。（資料④-3より講座の概要、実施状況、進捗状況を大まかに紹介）次年度の取り組みとしては、認知症サポーターへの活動先調整、名簿管理やマッチングやチームオレンジの稼働状況の情報共有、ニーズに応じた仕組みづくり、各圏域での開催を目指したステップアップ講座のパッケージ化を検討しています。今年度の認知症施策の主な活動報告は以上となりますが、新オレンジプランの7つの柱に基づき、認知症サポーター養成講座や認知症カフェ登録事業・設立支援事業等も前年度の引き続き取り組んでおりますので、資料④-2 枚方市における認知症施策一覧表をご確認ください。</p>
事務局司会	<p>認知症施策に関する取り組みについて、何かご質問やご意見があればお願いします。</p>
枚方市医師会	<p>オレンジカフェは稼働していますか？</p>
健康福祉総合相談担当	<p>新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いていた時は、数か所活動を再開していましたが、現在は登録カフェは全て一時休止していると把握しております。</p>
事務局司会	<p>それでは最後に、ご参加いただいている各機関より認知症施策に関わる情報提供をいただきます。</p>
東香里病院	<p>1月に認知症疾患医療センター主催でグループワークを中心とした連携協議会の開催を予定していましたが、残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大のため、資料送付のみとなりました。様々な機関の方と意見交換が出来る研修だったので、次の機会を期待しているところです。</p>

	<p>地域包括支援センター向けの認知症初期集中支援チーム研修会も、参加者の印象に残ったものだったと思います。研修の記憶が新しいうちに、再度働きかけができれば良いと思います。</p>
枚方市医師会	<p>市民向けの認知症講演会の開催が出来ないため、代替の啓発として医師会にて認知症動画を作成しました。「認知症が心配なもの忘れ」のタイトルはyoutubeで35万回再生されています。</p> <p>3月にも認知症疾患医療センター主催の研修会がありますが、認知症サポート医の理解を進めるため、企画に医師会が参画させていただいています。医師会や開業医の先生がシンポジストとして登壇する予定です。</p>
事務局司会	<p>今後も、各機関での新たな取り組み等がありましたら、情報提供をよろしくお願いいたします。</p> <p>では、これもちまして、令和3年度 認知症初期集中支援チーム検討部会を終了いたします。なお、本部会の内容については、令和4年3月開催の地域ケア推進実務者連絡協議会において、事務局より報告をさせていただきます。</p> <p>本日は、ご多忙のところご出席いただき、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。</p>